

News

おほらいきまする氏子ら＝富士市の藤間・八幡宮



エノキ古木 別れ惜しむ

腐食して倒木の危険が高まったため伐採が決まった富士市の藤間・八幡宮にそびえる市指定の保存樹木エノキのおほらいきまが9日、同所で行われ、氏子や地域住民が古木との別れを惜しんだ。伐採は10日に行う。

エノキは高さ15～20メートル、幹回り約2・6メートル。樹齢200～300年と推定され、長年にわたり鎮守の森の古木として地域住民に親しまれてきた。神事後、氏子らは古木に清めの米や塩をまいた。氏子総代の遠藤明さん(79)は「長い間、区民を守ってくれて深く感謝している」と古木を見つめた。

きょう伐採
富士の藤間・八幡宮

2012年10月10日朝刊 東部版

- ① エノキの樹齢じゆれい（木の年齢）は何年ですか。
（ ）～（ ）年
- ② その頃の日本は、海外との貿易を一部を除いて禁止しています。この体制を何と呼びますか。
- ③ ②の体制を行なった幕府ばくふは（ ）幕府です。

年 組 名前